

企画政策部 DX 推進担当
健康福祉部福祉総務課
健康福祉部生活福祉課

働き方改革・DX化を更に推進するため、 執務スペースの一部をフリーアドレス化しました！

多摩市は、庁舎の建替に向けた検討を進めているところですが、令和 11 年度の新庁舎の竣工に向け、市民サービスや行政の事務のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を進めていくこと、新庁舎での新しい働き方を見据えた中で、デジタルで完結できるものはデジタルに移行していくことが求められます。

特に、紙の申請書や資料をデジタル化することは、市民サービス及び行政事務の効率化に必須のポイントです。

しかしながら、これまでは多くの業務が紙文書を前提とした仕事の進め方を行ってきたため、紙文書のデジタル化には多くの課題が発生することが予想されます。

そこで、庁舎狭隘化対策として事務スペースの移転を行う際の事務スペースの一部フリーアドレス化に伴い、今後の紙文書の削減に向けた課題等のモデルケースとすることとしました。

1 フリーアドレス化の概要

(1) 対象執務スペース

市役所本庁舎 2 階 福祉総務課、健幸まちづくり推進室、生活福祉課

(2) フリーアドレス化を行うことになった経緯

庁舎狭隘化に対応すると共に、組織変更や職員増員への柔軟な対応や庁舎建て替えを念頭にした試行等の目的により、フリーアドレスを導入することとしました。

(3) フリーアドレス化実施後の職員の意見・感想

- ・ 個人机をなくすことを契機として、AI ヘルプデスクの導入を行うことにより、個人持ち資料の整理、資料の共有化を図り、ペーパーレス化が進んだ。
- ・ 同時に、LOGO フォームによる電子申請を利用した各種申告書・資料の受付を開始し、市民からの電話・来庁機会の削減を進めた。
- ・ 今まで偏っていた電話・窓口対応の負担が平準化された。
- ・ 空いたスペースで打合せや作業ができるようになった。
- ・ フラットな雰囲気で見聞交換ができるようになった。
- ・ フリーアドレス化により職員の離席・在席状況の把握に一手間かかるようになった。GW のスケジュール機能を活用し確認を行っている。
- ・ フリーアドレス化に伴い、個人ロッカーからまで事務用品などを取りに行く手間が増えた。共用の事務用品ボックスを机上に設置するなどして対応した。
- ・ 市民から随時提出される紙資料を電子化する仕組みの整備が今後の課題。

2 今後の動き（予定）

委託事業者の支援の下、紙文書を削減するために次の通り進めます。

（1）紙文書量の調査

対象となる課にある紙文書の量を把握します。

（2）紙文書量の削減

対象となる紙文書の量を踏まえ、紙文書の削減案及び削減計画を検討します。

（3）紙文書の電子化

対象となる課の現在の問題点を抽出し、ペーパーレスな働き方の実現に向けたルールや実施計画案等の作成支援をします。

（4）紙文書の電子化

対象となる課の、電子化可能な紙文書を電子化します。

（5）課題の抽出・解決策の検討

一連の業務を踏まえ、他課で紙文書の電子化を行う際に発生が予想される課題を抽出し、解決策を検討します。

<別添資料>なし

問い合わせ

●DX推進に関することについて

企画政策部DX推進担当

電話：042（338）6948

●フリーアドレス化に関することについて

健康福祉部福祉総務課

電話：042（338）6839

健康福祉部生活福祉課

電話：042（338）6853